

# 令和5年度 鹿児島県立図書館運営に関する点検及び評価結果

当館が策定している基本的運営方針を踏まえ、令和5年度の重点施策と関連する指標についての評価を実施し、その結果に基づく運営の改善を図ります。

## 【鹿児島県立図書館の目指す姿】

人づくりに貢献し、成長し続ける図書館  
～支える・役立つ・つなぐ・育む～

## 【基本目標・重点取組施策】

### <基本目標Ⅰ：支える図書館>

鹿児島県立図書館は、県立奄美図書館との連携を図りながら、県内の公共図書館（室）が多様なサービスを提供できるよう、ネットワークの構築や研究・研修の充実等により、「支える」図書館を目指します。

#### 〔重点施策〕

- 1 市町村図書館支援の充実
- 2 ネットワークの構築
- 3 図書館運営研究の拠点
- 4 図書館協議会等の充実

### <基本目標Ⅱ：役立つ図書館>

鹿児島県立図書館は、県の情報拠点として、県民や地域の課題解決支援が図れるよう、多様化・高度化する県民のニーズに応える資料の収集・保存や情報提供等に努めることにより、「役立つ」図書館を目指します。

#### 〔重点施策〕

- 1 利用者に対応したサービスの充実
- 2 課題解決支援・学習支援の充実
- 3 郷土資料（地域資料）の網羅的な収集とデジタル化
- 4 図書館資料の計画的な整備

### <基本目標Ⅲ：つなぐ図書館>

鹿児島県立図書館は、県民が新たな知を創出できるよう、居心地の良い空間やコミュニケーション空間の充実を図りながら、知識や知恵、情報の交流の場づくりに努めることにより、人と人、人と情報を「つなぐ」図書館を目指します。

#### 〔重点施策〕

- 1 場と人をつなぐ環境づくり
- 2 人と人をつなぐ環境づくり
- 3 情報と人をつなぐ環境づくり

### <基本目標Ⅳ：育む図書館>

鹿児島県立図書館は、県民の読書活動を積極的に推進するとともに、郷土の人や歴史等への理解を深める場の提供に努めることにより、県民が生涯にわたって読書に親しみ、郷土に学ぶ心を「育む」図書館を目指します。

#### 〔重点施策〕

- 1 子ども読書活動の推進
- 2 大人読書活動の推進
- 3 郷土の人・文化の理解と継承

## －評価基準－

評価	内 容	
A	非常に良好	計画どおりに実施でき、大きな成果が見られた
B	良好	計画どおりに実施できた
C	やや不十分	概ね計画どおりに実施できたが、一部が実施できなかった
D	不十分	計画どおりに実施できなかった

## 基本目標Ⅰ「支える図書館」

鹿児島県立図書館は、県立奄美図書館との連携を図りながら、県内の公共図書館（室）が多様なサービスを提供できるよう、ネットワークの構築や研究・研修の充実等に努めることにより、「支える」図書館を目指します。

### Ⅰ 令和5年度の取組状況

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	市町村図書館支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出文庫により、市町村立図書館の希望する図書の貸出を行う。</li> <li>・相互貸借で使用する図書館ポータルサイトの活用に関する助言を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出文庫により市町村立図書館の蔵書を支援することで、県民への貸出が、前年度比1,610冊増加した。</li> <li>・新システムにおけるポータルサイトの運用と活用の改善を図り、利用促進を呼びかけた。</li> </ul>	B
2	ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の共有化を図るとともに、連携を密にし、利用者サービスの向上を図る。</li> <li>・横断検索システムへの参加・利用促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の市町村図書館（室）に関する情報の積極的な収集・広報に努め、各館の交流を推進した。また、居住地返却については、令和4年度の95.6%から97.5%に達成割合が上昇しており、ネットワークを通じたサービスが浸透している。</li> <li>・横断検索システムの参加自治体数は令和4年度と変わらず38市町村だが、新たに5図書室（霧島市）が参入した。</li> </ul>	B
3	図書館運営研究の拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館関係者が、本県の読書活動推進や図書館の利活用のための連携について研究を深めるため、県図書館大会及び図書館講座並びに研修会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書館大会」は85.1%（前年度82%）、図書館「総合」講座は94%（前年度92%）の参加があり、いずれも参加増となった。</li> <li>・各地で実施される研修へ職員を派遣するとともに、来館研修や司書実習を受け入れるなど、市町村等を支援した。</li> </ul>	B
4	図書館協議会等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館運営や利用者サービスの改善・向上を図るため、図書館協議会及び図書館協会を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン会議を継続し、委員が出席しやすい環境づくりに努めた。</li> <li>図書館協議会：年2回開催</li> <li>図書館協会：年3回開催</li> <li>・対面形式での会議では、連携・協力体制について確認した。</li> </ul>	A

## 2 各種指標の達成状況

### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	県民一人当たりの貸出冊数	3.50 冊	3.28 冊	93.7%
2	市町村満足度	86.0%	81.4%	94.7%

### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	図書館等への貸出冊数	37,200 冊	34,102 冊	91.7%
2	居住地返却の冊数	4,800 冊	4,682 冊	97.5%
3	横断検索への接続市町村数	40 市町村	38 市町村	95.0%
4	講座等への参加者数	720 人	617 人	85.7%
5	「県立図書館を語る会」の参加者数	190 人	202 人	106.3%

## 3 評価と今後の取組について

県民一人当たりの貸出冊数は、令和3年度以降、緩やかな回復傾向にある。

貸出文庫・相互貸借・居住地返却等に関する利用者アンケートでは、81.4%が「満足・やや満足」と回答しており、前年度に引き続き、好意的な評価を受けた。特に、居住地返却については、令和4年度の95.6%から97.5%に達成割合が上昇しており、ネットワークを通じたサービスが浸透していることがうかがえる。

図書館大会の参加者については、目標値の670人には到達しなかったが、公共図書館職員の資質向上の良い機会となるよう、時代の要請や職員のニーズに応じた内容の見直しに取り組んでいる。

県図書館協会や県立図書館協議会等の「県立図書館を語る会」については、意見交換等を通じて連携協力を確認し、図書館サービスへの御意見を基に運営の見直しを図る機会であることから、今後も対面とオンライン会議を活用するなど出席しやすい環境作りに努め、いただいた御意見をサービスの向上に生かしていきたい。

今後も、市町村立図書館等の要望に応じた蔵書支援を実行するとともに、当館が主催する講座や市町村等へ職員を派遣して行う研修会により一層の充実を図り、公共図書館職員のスキルアップを図ることで、「支える図書館」としての役割を充実させ、利用者を満足させるサービスを提供したい。

基本目標Ⅱ「役立つ図書館」

鹿児島県立図書館は、県の情報拠点として、県民や地域の課題解決支援が図れるよう、多様化・高度化する県民のニーズに応える資料の収集・保存や情報提供等に努めることにより、「役立つ」図書館を目指します。

Ⅰ 令和5年度の取組状況

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	利用者に対応したサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインの視点に立ったサービスの充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値には及ばなかったが、令和4年度より満足度が4.5%上昇した。また、利用者アンケートのうち、照明の明るさの改善を求める意見については、令和6年度から2カ年事業でLED化を実施し、安定的な明るさを提供する。</li> <li>3月には、2階閲覧室にあった大活字本を1階閲覧室へ移動し、併せて、車いすの通路を確保するなど、バリアフリーに配慮した書架の追加や場所の変更を実施した。</li> </ul>	B
2	課題解決支援・学習支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土に関する事項の件名やレファレンス事例の電算入力、パスファインダーの作成等、レファレンスツールの充実に努める。</li> <li>課題解決支援コーナーの充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レファレンス件数は、令和4年度より年間18件増加し、目標達成率99.3%であった。また、利用者アンケートにおいてもレファレンスサービス利用者の98.8%が「満足・やや満足」と回答しており、県民や地域の課題解決支援への役割を十分果たしていることがうかがえる。</li> <li>課題解決支援コーナー4分野の資料収集や展示、配架の工夫を行い、充実を図った。</li> </ul>	A
3	郷土資料（地域資料）の網羅的な収集とデジタル化	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の文化遺産として永く後世に伝えていくために網羅的で積極的な郷土資料の収集を行い、そのために各関係機関との連携を図り協力を依頼する。</li> <li>郷土資料の保存と活用のため郷土新聞や貴重資料等のデジタル化を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県政情報センターや市町村と連携し、行政資料や郷土誌等の収集に努めた。また、生涯学習の推進並びに歴史研究会等との連携・協力に資するため、県内の歴史研究会等の活動状況調査を行い、一覧表を作成し、ホームページに掲載した。</li> <li>令和5年度は、3,702枚のデジタル化を行った。現在までに全体の50.6%のデジタル化が進んだ。</li> </ul>	B
4	図書館資料の計画的な整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の生涯学習に役立つ資料を幅広く収集するとともに、海音寺潮五郎文庫や雑誌スポンサーコーナー、障害者サービス資料の充実も図りながら、県民の調査相談に資する図書館、保存図書館としての資料の整備に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収容スペースの確保を図りながら、計画的に約12千冊を受け入れた。雑誌については、スポンサー制度により、18団体から42誌の提供を受けた。また、障害者サービスについては、令和5年度から国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービスの提供を開始したところである。</li> </ul>	B

## 2 各種指標の達成状況

### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	貸出＋書庫閲覧冊数	381,000 冊	272,077 冊	71.4%
2	利用者満足度	52.0%	45.9%	88.3%

### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	利用者満足度（ユニバーサルデザイン）	77.2%	61.1%	79.1%
2	レファレンス検索データ入力件数	150 件	149 件	99.3%
3	デジタル化資料数 （貴重資料デジタル化進捗率）	65.1%	50.6%	77.7%
4	蔵書冊数	944,000 冊	932,902 冊	98.8%

## 3 評価と今後の取組について

貸出冊数は2年連続で減少した。コロナ禍後の人々の生活スタイルや行動パターンの変化、インターネット利用に伴う書籍離れなどが要因として考えられる。今後も、利用者アンケート等を通じた利用者の動向を注視しつつ、来館が困難など様々な状況下にある利用者に対応したサービスの充実に努めたい。

貸出期間や冊数、予約、調査相談等の11項目に関する利用者満足度は、目標値に若干到達しなかった。一部の事業（学校等への団体貸出）の実績値が突出して低いことから、事業やサービスの認知度を高めるための広報等に取り組んでいく。

ユニバーサルデザインについては、照明の明るさの改善や大活字本や音声図書の充実を望む声があった。照明については、令和6年度から2カ年事業でLED化を実施する。大活字本等のアクセシブルな書籍については、読書バリアフリー法や県読書バリアフリー計画を踏まえ、計画的に充実にしていきたい。

レファレンスについては、利用者の98.8%が「満足・やや満足」と回答しており、県民や地域の課題解決支援への役割を十分果たしていることがうかがえる。今度も、調査研究に役立つ図書資料の収集に努め、レファレンス結果を集積することで、更なる課題解決支援サービスの充実に繋げたい。

後生に継承すべき郷土資料（地域資料）については、保存図書館として積極的な収集に努めるとともに、広く県民が活用できるようデジタル化を進める。

今後も、生涯学習を支えるサービスの充実と資料収集・情報提供等を通して、「役立つ」図書館の役割を果たしていきたい。

基本目標Ⅲ「つなぐ図書館」

鹿児島県立図書館は、県民が新たな知を創出できるよう、居心地の良い空間やコミュニケーション空間の充実を図りながら、知識や知恵、情報の交流の場づくりに努めることにより、人と人、人と情報を「つなぐ」図書館を目指します。

Ⅰ 令和5年度 of 取組状況

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	場と人をつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居心地の良い空間・居場所づくりの充実が図られるよう、施設等の安全管理及び保全改修に努める。</li> <li>・広報誌やホームページの内容の充実を図り、積極的な情報発信に努めるとともに、県の広報誌等を活用した広報活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急性・安全性に配慮し、老朽化により損傷等が著しくなった設備について、優先度の高い箇所から保全改修を行った。（空調設備送風機モーター、高圧ケーブルの取替補修）</li> <li>・公式 Facebook やホームページの内容の充実を図るとともに、広報誌等を利用した広報活動・情報発信に努めた。また、県トリアル発注・販路開拓支援制度を活用し、和風屏風コーナーを設置し、効果的な広報展示を実施した。</li> </ul>	B
2	人と人をつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民を対象とした交流イベント「県図書ほっとフェス」を開催し、図書館利用の促進を図る。</li> <li>・中・高校生の職場体験学習や家庭教育学級等の来館研修を受け入れ、図書館を介して交流する機会を設ける。</li> <li>・県民の生涯学習を支援するため、研修室の貸出を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12/23, 24 の2日間、「県図書ほっとフェス」を開催し、幅広い年齢層を対象とした交流の場を創出した。</li> <li>・実習及び見学等の受け入れについて59団体、延べ589人を受け入れた。</li> <li>・研修室の貸出促進を図るため、利用案内をホームページに掲載するなど、SNS を活用した広報に取り組んだ結果、132件の貸出につながった。</li> </ul>	A
3	情報と人をつなぐ環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の一環としてボランティアを受け入れるとともに、活動の支援を行う。</li> <li>・広報紙やホームページ、SNS等の充実を図り、積極的な情報発信に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生から一般まで、175人がボランティアに登録し、延べ455回活動に取り組んだ。</li> <li>・図書資料を活用して、高校生対象の「ビジネスプラン作成講座」を、県民一般対象の「お仕事応援セミナー」を行い、人と情報をつなぎ、県民や地域の課題解決の支援を行った。</li> <li>・タイムリーな記事を継続的に掲載することで、令和4年度より185件フォロー数が増加した。</li> </ul>	B

## 2 各種指標の達成状況

### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	入館者数	478,000 人	323,436 人	67.7%
2	利用者満足度	65.5%	63.8%	97.4%

### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	利用者満足度 (居心地の良い空間・居場所づくり)	86.9%	83.9%	96.5%
2	交流イベント参加者数	155 人	287 人	185.2%
3	ボランティア活動者数	800 人	455 人	56.9%
4	HPのリンク数	11 件	8 件	72.7%
5	SNSフォロワー数	1,400 件	774 件	55.3%

## 3 評価と今後の取組について

入館者数は、目標の7割に満たず、前年度よりも約6千人減少した。新型コロナウイルス感染症が5類に分類され、人の動きも活発化している状況下における入館者減のため、要因について、人口減少の影響や図書館利用のスタイルの変化等、多角的な視点で考察する必要がある。令和6年度の動向を注視しつつ、指標の見直しについて検討したい。

ボランティア活動についても、コロナ禍以来、高齢の登録者の活動自粛の影響もあり、目標値を下回っている。

年間の入館者数やボランティア活動者数は減少する一方で、交流イベント「図書館ほっとフェス」には、目標値を大きく上回る287人の参加を得ることができた。

また、「居心地の良い空間・居場所づくり」の利用者満足度は、前年度に続き80%を超えており、今後も魅力的な空間の創出に努めていく。

SNSのフォロワー数も令和4年度から185件増加しており、特に令和5年度からスタートしたInstagramのフォロワー数が伸びてきている。

今後も、魅力ある空間づくりや幅広い年齢層が交流できる場の創出、戦略的なSNS広報に取り組み、人・場所・情報を「つなぐ」図書館を目指していきたい。

基本目標Ⅳ「育む図書館」

鹿児島県立図書館は、県民の読書活動を積極的に推進するとともに、郷土の人や歴史等への理解を深める場の提供に努めることにより、県民が生涯にわたって読書に親しみ、郷土に学ぶ心を「育む」図書館を目指します。

Ⅰ 令和5年度の取組状況

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	子供読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子読書研修会や読書の魅力を伝える活動推進研修会を通して、家庭・地域・学校の関係者等、幅広い年代を対象に読書活動に関する知識と技能の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校図書館講座」及び「読書の魅力を伝える活動推進研修会」への参加者は、前年度より約50人増加しており、内容についても、利用者の90.6%が「満足・やや満足」と、全体の満足度は高かった。</li> </ul>	B
2	大人読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書に楽しむ大人の姿の影響力を重視し、「読書の魅力を伝える活動推進研修会」のワークショップ、「県図書はっとフェス」の取組に大人向けの読書活動を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種交流イベントの機会を活用し、大人向けの読書体験活動として「書庫ツアー」、「グランピングで読書体験」、「ロビーコンサート」等を実施し、目標の90人を超える93人が参加した。</li> <li>・読書の魅力を伝える活動推進研修会を県内2か所（北薩地区、大隅地区）で実施し、高齢者向けの読み聞かせ等のワークショップを通して、大人の読書活動の推進に関する知識と技能の向上を図った。（参加者206人）</li> </ul>	A
3	郷土の人・文化の理解と継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海音寺潮五郎文庫の充実を図る。</li> <li>・貴重資料紹介展や講演会を行い、県民の生涯学習の一助とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は、関連図書547冊を拡充するとともに、「海音寺潮五郎記念文化講演会（131人来場）」を開催し、郷土の文豪の功績を伝えるとともに、文化の高揚を図った。また、高校生を対象に文芸ゼミナールを年8回開催し、22人が作品制作に挑戦した。</li> <li>・9月と12月に「かごしまの歴史文化講演会」を実施するとともに、講演内容に沿った関連貴重資料の公開を行ったところ、目標を上回る約1,700人が参加した。</li> </ul>	A



## 2 各種指標の達成状況

### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	研修会等の参加者数	1,150人	650人	56.5%
2	受講者満足度	90.0%	96.1%	106.8%

### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	講座等参加者数 (定員に対する参加者数の割合)	85.0%	61.2%	72.0%
2	大人向けイベントの参加者数	90人	93人	103.3%
3	資料展等の参加者数	1,500人	1,772人	118.1%

## 3 評価と今後の取組について

「読書の魅力を伝える活動推進研修会」の参加者は、前年度より増えたものの、読書グループの数と加入者数の減少に伴い、年々減少傾向にある。

「海音寺潮五郎記念文化講演会」における内容の満足度は100%であったが、昨年度より約60人近く参加者数が減少したため、周知・広報の在り方を再度見直したい。

読書活動推進につながる各種講座等の参加率は、緩やかな復調を辿っており、参加者の90.6%が「満足・やや満足」と全体の満足度も高かった。また、子どもの読書活動推進を図るには、大人の読書活動を推進することが必要であり、「県図書ほっとフェス」等における様々なブースへの積極的参加を促している。

貴重資料展については、目標を大きく上回る約1,700人の参加があった。令和6年度は、従来の広報に加え、県内の歴史研究団体等にも周知することで、更なる参加者の拡大につなげたい。

今後も、家庭・地域・学校の関係者等、幅広い年代を対象にした研修会等の開催や大人向けの読書体験活動を展開するとともに、貴重資料展や文化講演会の開催を通して、県民が生涯にわたって読書に親しみ、郷土の人や文化を理解し継承する心を「育む」図書館としての役割を向上させたい。